

# 「感じ・考え・行動する」エネルギー学習 ～Think Globally Act Locally～

## いわき市立 中央台東小学校

福島県いわき市

### プロフィール

実践参加者：教員20名、児童405名（1年生～6年生）

実践期間：2009年4月1日～現在も継続中

実践分野：照明、水道

6年間の系統的なエネルギー学習により、子どもたちはエネルギーを作る大変さを知りました。これからは、エネルギーを大切に使うことが重要であると導き出し、環境委員会を中心に全校で省エネ活動を実践しています。

### 1. 身近なエネルギー

中央台東小学校は2004年にできた学校です。校舎には太陽光パネルが設置され、地下に雨水をためる水槽がありトイレや花壇の水に利用しています。そこで、身近なエネルギーに触れることで、エネルギー問題をグローバルな視点で考え、ローカルに行動する学習の流れを進めてきました。



### 2. 感じ、考える

子どもたちの発達段階に応じた6年間の学習プログラム・カリキュラム

- 自然エネルギーを感じよう／1年生「風のかで風車が回るよ」、2年生「水のかってすごいね」
  - 身近なエネルギーを感じよう／3年生「太陽光でエコクッキング」、4年生「電気を作るって大変」
  - 新エネルギー／5年生「地球温暖化防止と新エネルギー」
  - 資源エネルギー／6年生「私たちの暮らしとエネルギー」
- その他、いわき明星大学東教授による専門的講義を受け、エネルギー関連施設の見学などを通じ、事実を知り、グローバルな視点での問題点を感じ、考えを深めます。

そこから、5年生は、新エネルギーについてポスターセッションで多くの人に伝えること、6年生は討論会を行い「これからのエネルギー問題」として、①ベストミックスで利用、②他の国と仲よく（友好）、③新技術の開発、④省エネ、新エネルギーの普及、を導き出しました。



### 3. 行動する

地球温暖化を防ぐために、エネルギーを有効に使うため、学校でできる省エネ活動を考え、例えば天気の良い日は、授業中でも一列蛍光灯を消す、蛇口は鉛筆の太さの水量になるよう調節するなど、全校で行動にうつしました。環境委員会では「みんなの努力で明るい未来」を合い言葉に、「節電、節水カレンダー」「節電よびかけシール」「節電節水よびかけコマースャル」などの活動を通じ節電、節水を呼びかけます。また、本校の取り組みを、各種コンクールやキャンペーンに参加し発信しています。

以上のように、6年間の学習プログラムと大学や地域の施設との連携・協力により、エネルギー問題を身近なものとして捉え、確実に子どもの姿が変わってきました。今後はさらに学習したことを多くの人に知ってもらえるように、学習を深め、継続し、地域や市内の学校にも発信していきたいと思ひます。



### ポイント

- 新しくできた小学校で、太陽光パネルや雨水を溜める水槽などエコ施設が身近にある。
- 6年計画のエネルギー学習の中で、日本のエネルギー問題などについても段階的に学ぶ。
- 「節水カレンダー」「節電よびかけシール」などで全校で省エネ行動に取り組む。